



～開館から5か月で年間目標を達成！～

本日すみだ北斎美術館が入館者20万人を突破！

■開館記念展Ⅲ「てくてく東海道－北斎と旅する五十三次－」開催期間中に20万人入館突破

すみだ北斎美術館(亀沢2丁目7番2号)の開館から5か月を迎え、本日4月29日(土)午前11時に開館1年目の目標入館者数である20万人を突破した。

記念すべき20万人目の入館者となったのは、妹島和世さんの建築が見たくて訪れたという、台湾台北市から来たインテリアデザイナーの林^{リン}凡^{フォン}郁^{ユウ}さん(27歳)。20万人目の来館者となった林さんは「とても驚いています。台湾でも北斎は有名です。」と話していた。林さんには記念の品として、花束と一緒に、区内の工房「片岡屏風店」作成の「富嶽三十六景 凱風快晴」が描かれた屏風絵と、「年間パスポート」、現在開催中の企画展「てくてく東海道－北斎と旅する五十三次－」に合わせて作成した「東海道五十三次北斎双六」が贈られた。

菊田寛館長は「北斎作品を愛し、当美術館に注目して下さる方々が多いことを、とても嬉しく思います。そして、開館以来、入館頂いた方に深く感謝いたします。皆さんの思いに応えられるように、これからも展示やイベントを工夫して、若い人から年配の方、そして外国の方々など、皆さんが気軽に訪れ、楽しんでもらえる美術館をめざしてまいります。」と笑顔で話していた。

今後も同美術館では、様々な企画展や沢山のイベントを実施し、北斎の作品鑑賞はもちろん、建築や講座活動など、作品鑑賞以外でも楽しんでいただける施設運営を展開していく。

<すみだ北斎美術館について>

世界的な画家として評価の高い葛飾北斎は、宝暦10年(1760年)に本所割下水付近(現在の墨田区亀沢付近)で生まれ、90年の生涯のほとんどを墨田区内で過ごしなが、優れた作品を数多く残した。墨田区では、この郷土の偉大な芸術家である北斎を区民の誇りとして永く顕彰するとともに、地域の産業や観光へも寄与する地域活性化の拠点として、平成28年11月22日に「すみだ北斎美術館」を開館した。この美術館では、北斎及び門人の作品を紹介するほか、北斎と「すみだ」との関わりなどについてわかりやすく伝えていくため、展覧会をはじめ様々な普及事業を開催。そして、これらの事業活動を通じて国内外に向けて情報を発信し、北斎と「すみだ」の魅力をより一層高めていく。「北斎顕彰を通じて地域に愛着を深める場」「区民の生涯学習の場」「地域活性化の拠点(観光、産業への寄与)」「国内外に向けた情報発信と交流の場」を設置目的としている。※2016年12月8日に入館者数3万人を達成。

<現在開催中の開館記念展「てくてく東海道－北斎と旅する五十三次－」について>

“東海道五十三次”といえば歌川広重が有名ですが、更にさかのぼること30年、葛飾北斎も、当時の絵師の中でも群を抜く、多数の“東海道五十三次”シリーズを手掛けています。風景を主とする広重とは違い、北斎は小さくてかわいらしいサイズの画面に、土地の風俗を多く描きました。当企画展では、北斎の<東海道五十三次>シリーズより、当館所蔵の「春興五十三駄之内」の貴重な初摺一揃いを、初公開します(前後期で半数ずつ展示)。北斎の描いた東海道五十三次の世界を、シリーズ毎に展示するばかりではなく、トピックス毎に展示するなど、様々な角度からご紹介します。5つ構成からなる展示で【北斎ならではの】東海道五十三次の魅力をお楽しみいただけます。

【前期】4月18日(火)～5月14日(日) 【後期】5月16日(火)～6月11日(日) ※前後期で一部展示替えあり

【開館時間】午前9時半～午後5時半(入館は午後5時まで)

【観覧料】(個人)一般：1,000円、高校生・大学生：700円、65歳以上700円、中学生300円、障がい者300円

《写真》別途メールでご提供いたします。広報宛e-mail (hm-pr@hokusai-museum.jp)までご請求ください。



報道関係の方の
お問い合わせ先

すみだ北斎美術館 広報担当 Tel: 03-6658-8991 Fax: 03-6658-8992
E-mail: hm-pr@hokusai-museum.jp



すみだ北斎美術館